



おはようございます。

「最近、暑くなってきました。こまめに水分補給をしましょう。」「天気が悪い日が続きます。体調管理に気を付けましょう。」6年生、ありがとう。とてもいいことを言ってくれました。

東京都は3回目の緊急事態宣言が発出されているゴールデンウィークも終わり、さらに延長となりました。コロナウィルス感染予防はしばらく続きそうですね。緊急事態宣言はこれ以上延長されずに今月で済むのでしょうか。全校遠足は6月22日に延期しました。また、6年生は6月2日、3日に移動教室に行く予定でしたが、9月に延期となりました。5年生が7月末に行くことになっている林間学園は予定通り行けるといいのですが。6月中には行けるか中止かどちらかに決まります。心配は続きます。本当に早くコロナが収まってほしいです。

さて、先週は副校長先生があいさつについてお話してくださいましたね。ずいぶんあいさつする人が増えました。うれしいことです。今日からは代表委員会の提案で『あいさつ運動』に取り組んでくれます。これからみんなの元気なあいさつがずっと続いて、それが当たり前になってほしいです。『四日野っ子、元気があっていいね』って地域の方からも思っていたきたいです。前にもお話しましたが、あいさつは『魔法の言葉』なのです。あいさつについて、14日の東京新聞の発言・若者の声のコーナーに記事が載っていたので紹介します。

心が晴れるあいさつ

中学生 富田 成太郎  
(東京都町田市)

「こんにちは」という気持ちのいいあいさつ。

僕の学校では、すれ違った人や学校に関係のある人には、必ず遠くからでもあいさつしようという目標がある。最近では、廊下を歩くと「おはようございます」「こんにちは」など、たくさんのおいさつが聞こえるようになってきた。

僕はあいさつすることはとても良いことだと思う。なぜなら、僕自身が体験したからだ。というのも、僕は入学式の日、緊張などとても不安だった。不安をかかえたまま、中学校に行った。学校に入った時、先生方がたくさんのおいさつで出迎えてくれた。それで一気に気持ちが晴れた。あいさつの大切さを知った。

あいさつは、した人もされた人も笑顔になれる。これからもあいさつを続けていきたい。

みんなにも経験があるかしら。気持ちの良いあいさつで、気持ちの良い学校生活を送りましょう。「明るく いつも 先に あいさつ」です。この言葉は、四日野の玄関に飾ってありますよ。知っていましたか。知らなかった人は、探してみてください。